

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	水域環境改善・浄化対策事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	EM活性液培養装置貸与実施要綱・水質汚濁防止法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	昭和 51 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと		終期	未定
(小項目)		河川・海岸			
施策	4	自然環境に配慮した水辺空間の整備			
基本事業	2	水辺環境の保全と再生			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市全域の河川や水路等の水質														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	河川や水路等の水質浄化														
事業計画	28年度に何を計画していたか	前年度の事業を継続して取り組むとともに、EM活性液について市民の認知度が低いことから、広報や市公式ウェブサイト等で、地域団体でのEM活性液を使った取り組みや効果について周知を図る。 ふるさと納税寄付金を使って、新EM活性装置を装置の腐食が進んでいる団体に貸与し、地域での取り組みを進める。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EM培養装置貸与団体地区数</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	EM培養装置貸与団体地区数	11	8	9	10	11	箇所
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
EM培養装置貸与団体地区数	11	8	9	10	11	箇所										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	城見橋・木津神橋付近の公共用水域で毎月水質調査を実施、また市内各所における年1回の市内水質総合調査を実施するとともに、各自治振興会等にEM培養装置の設置を働きかけて、新たに池谷地区に設置することができ、萩原地区については、機器を更新した。また市民団体等とともに新池川のEM活性液を活用した水辺環境改善事業に取り組んだ。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EM培養装置貸与団体地区数	7	8	9	10	11	箇所
	2	EM資材費	753	1038	1000	1300	1400	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	EM培養装置貸与団体地区数		7	8	-	-	-	箇所
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	平成28年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	0	0	1,100	2,572	3,672	
		補正予算額	0	0	0	0	0	0	
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0	
		全体予算額	0	0	0	1,100	2,572	3,672	
		決算額	0	0	0	1,100	998	2,098	
		繰越額	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費			
0.1	0.0	713	2,811						

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	1,649	2,098	3,030	3,030	3,030
	うち一般財源	1,649	998	3,030	3,030	3,030
	人件費	686	713	713	713	713
	総事業費	2,335	2,811	3,743	3,743	3,743

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		城見橋・木津神橋付近の公共用水域における毎月の水質調査、また市内各所で実施する市内水質総合調査において、概ね水質の悪化は認められなかった。 身近な河川や水路の水質を把握するための調査を実施し、また市民団体との協働によりEM活性液を活用した河川の水質改善に取り組んだ。
	効率性	B:概ね効率的だった		
②成果に対する評価	指標名	EM培養装置貸与団体地区数		EM培養装置を新たに1箇所設置することができ、目標の8箇所を達成した。他に1地区、同装置を更新することが出来た。その他の貸与団体地区も継続的にEM活性液製造に取り組んでいる。
	目標	8	箇所	
	実績	8	箇所	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		城見橋・木津神橋付近の公共用水域における毎月の水質調査、また市内各所で年1回実施する市内水質総合調査において、概ね水質の悪化は認められなかった。貸与団体地区は継続的にEM活性液製造に取り組み、新たに1地区設置することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	EMの普及のため、継続してEM培養装置の新規貸与について、未設置の地域に対して働きかけを行っているが、未だ市内全域に達していない。このことから、全域設置をめざして今後も周知と促進を図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	昨年度に引き続き、EM培養装置の新規貸与について未設置の地域に働きかけを行い、鳴門市全域の河川における水質改善をめざす。			
	H30年度	前年度の取り組みを継続して水質改善をめざす。			